

# 福祉施設で介護者として 支援活動する場合の注意点

～福祉施設への訪問指導に携わった経験からの助言～

藤枝市立総合病院

感染管理室

感染管理特定認定看護師

感染管理認定看護師

戸塚美愛子

小林亜紀子

# 感染対策 基本の **き**

- 感染しない（もらわない）
- 感染させない（うつさない）

職員⇔利用者への感染を予防する



職員⇔職員への感染を予防する

利用者⇔利用者への感染を予防する

応援派遣職員  
の場合は特に  
ココ!

# 感染対策 基本の **き**

## ● 感染しない (もらわない)

陽性者

職員 (陽性になるかも)

入所者 (陽性になるかも)

⇒自分への  
感染を予防する

‘もらわない’ 対応をとることができれば、  
‘うつさない’ 対応も大体できています

# 本日の内容

- 感染対策の基本
  - ✓ 標準予防策
    - 手指衛生
    - 個人防護具の使用
      - ＋コロナ対応の場合
    - 環境整備
  - ✓ 職員健康管理
- ゾーニングの理解
- 感染者の対応 体調管理
- 演習 個人防護具着脱、手指衛生

# 標準予防策

標準予防策は、  
**既知**の感染症はもとより、  
**未知**の感染症に対しても  
感染を予防しようとする対策である。  
**すべての人**に実施する。

『すべての人は人にうつす病原  
体を保有していると考えて対応  
する』と言い換えられます。

未知とは  
新興感染症  
診断前

新型コロナウイルスは  
まさしくこれだった！

コロナだって、検査  
しなきゃわからない

これに加え感染症が判明（疑い）しだい、感染経路別予防策  
を追加する。

# 標準予防策として実施すること

## 標準予防策

すべての人の、

- ①血液
- ②目に見える血液の有無にかかわらず、すべての体液、分泌物、排泄物（汗を除く）

③粘膜

④創傷皮膚

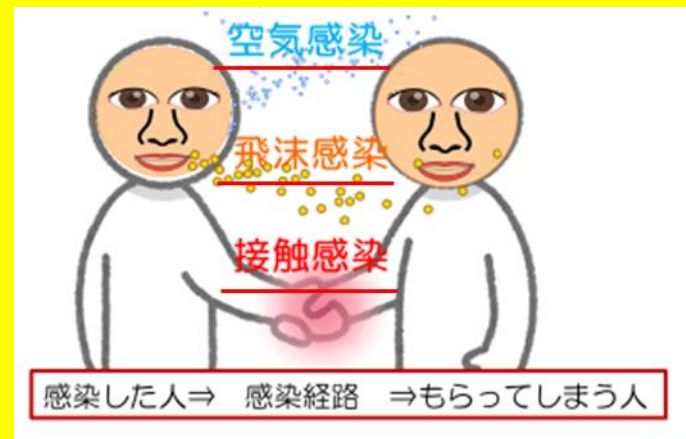
感染性  
物質

を感染性として取り扱うこと

+

## 感染経路別予防策

感染症が判明(疑い)しだい、適切な予防対策を追加すること



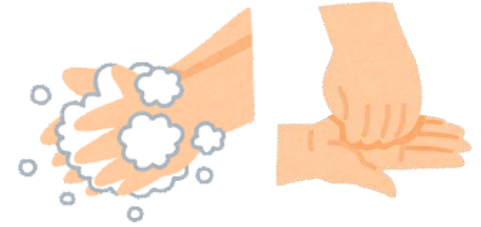
の3つがある

# もう少し具体的な対策

すべての人は人にうつす病原体を保有していると考え

- **手指衛生**を行う(利用者および周囲の環境に接触する前後)
- **個人防護具**を着用する(感染性物質に曝露する恐れがある場合)
- 咳エチケットを行う
  - \* コロナ禍はユニバーサルマスキング
- ケア用品などの適切な取り扱い(共有する物の清浄化、専有化の判断)
- **環境をきれいに**(消毒) する
- リネンの取り扱いに注意する
- 適切な患者配置を行う(ゾーニングで)

# 手指衛生（手洗い、手指消毒）



## □ 手指衛生の目的

- 自分の手に付いた病原体が
  - ✓ **自分の目・鼻・口につけない**ように（もらわない）
  - ✓ **ヒトの目・鼻・口につけない**ように（うつさない）
  - ✓ **共有環境を汚染させない**ように（もらわない・うつさない）



手を洗い病原体を流す。

手を消毒して病原体の感染力をなくす。

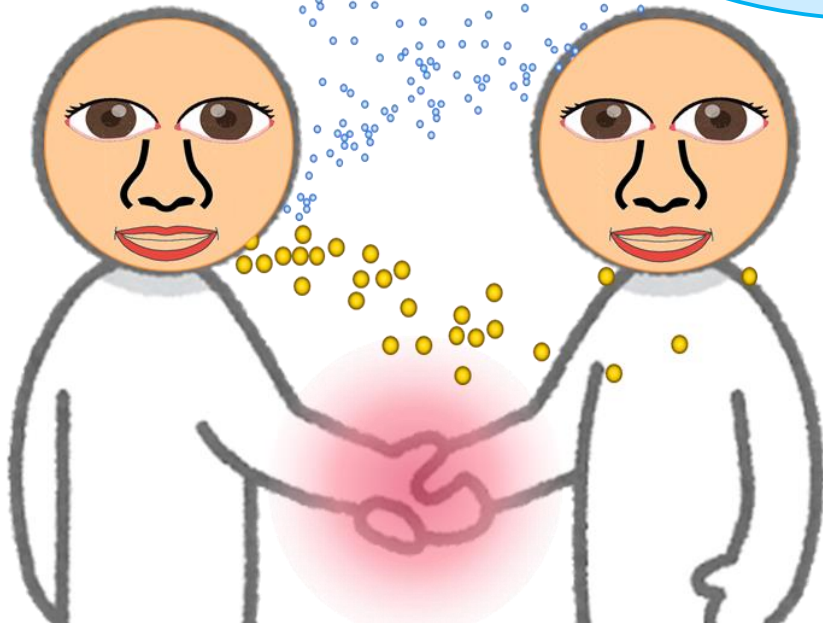




# 新型コロナウイルスについて

どこから侵入し、どうやってうつる？

くしゃみや咳などでウイルスが飛び、目・鼻・口から入ること  
でうつる(飛沫感染)  
ウイルスが付いた手で目・鼻・口を触ること  
でうつる(接触感染)



・・・エアロゾル感染\* わずかだがある  
喀痰吸引など

\*空中に浮遊するウイルスを含む粒子を吸い込む  
ことで感染すること

・・・飛沫感染 主な経路

・・・接触感染 一部の経路

# 手洗い・手指消毒の選択

## □ 手指衛生方法の選択

新型コロナウイルスは  
アルコールによる  
消毒が可能

下記に当てはまりますか？

- 見た目に汚染されている
- 排泄後、排泄ケア後
- 食事前、食事介助前

NO



YES



＜流水手洗い＞

＜手指消毒＞



+ 近くに手洗い設備  
がない

どちらかの実施でOK！

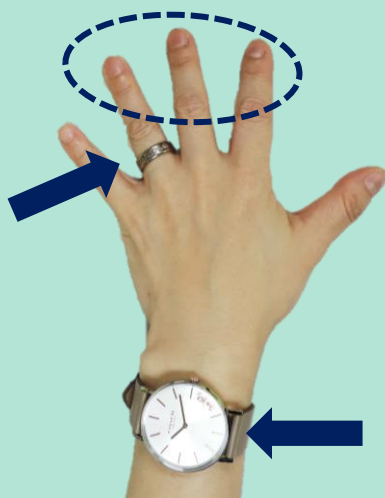
手洗い+手指消毒は手荒れの原因となる

# 効果的な手指衛生をしよう！！

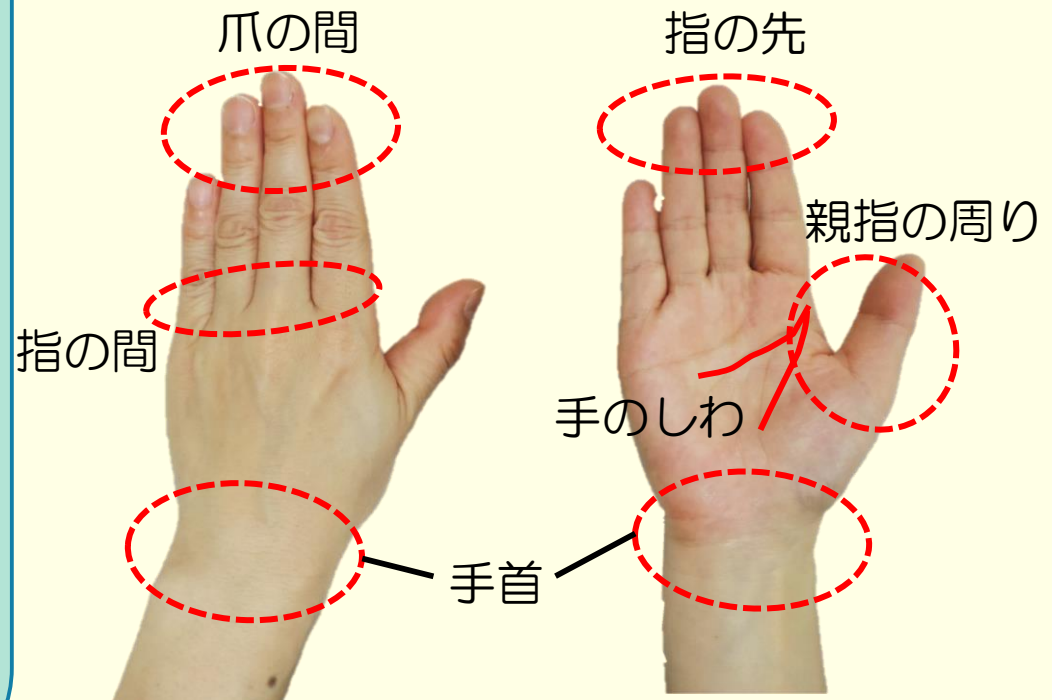
手指衛生その前に！

**まずチェック！**

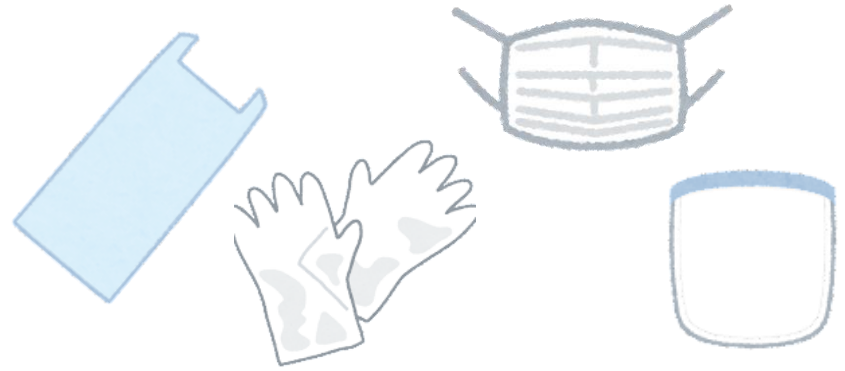
- 時計は外した？
- 指輪は？
- つけ爪はしていない？
- 爪は短い？



汚れが残りやすいところ



# 個人防護具の使用



## □ 個人防護具使用の目的

- 利用者が持っている(かもしれない)病原体が  
✓ **自分の目・鼻・口につかない**ように(もらわない)



感染性のある部位（感染性物質）  
に接触する際に、個人防護具を  
**選択して**使用する

**外側**⇒自分を守るため(もらわない)

**内側**⇒相手を守るため(うつさない)

## 標準予防策

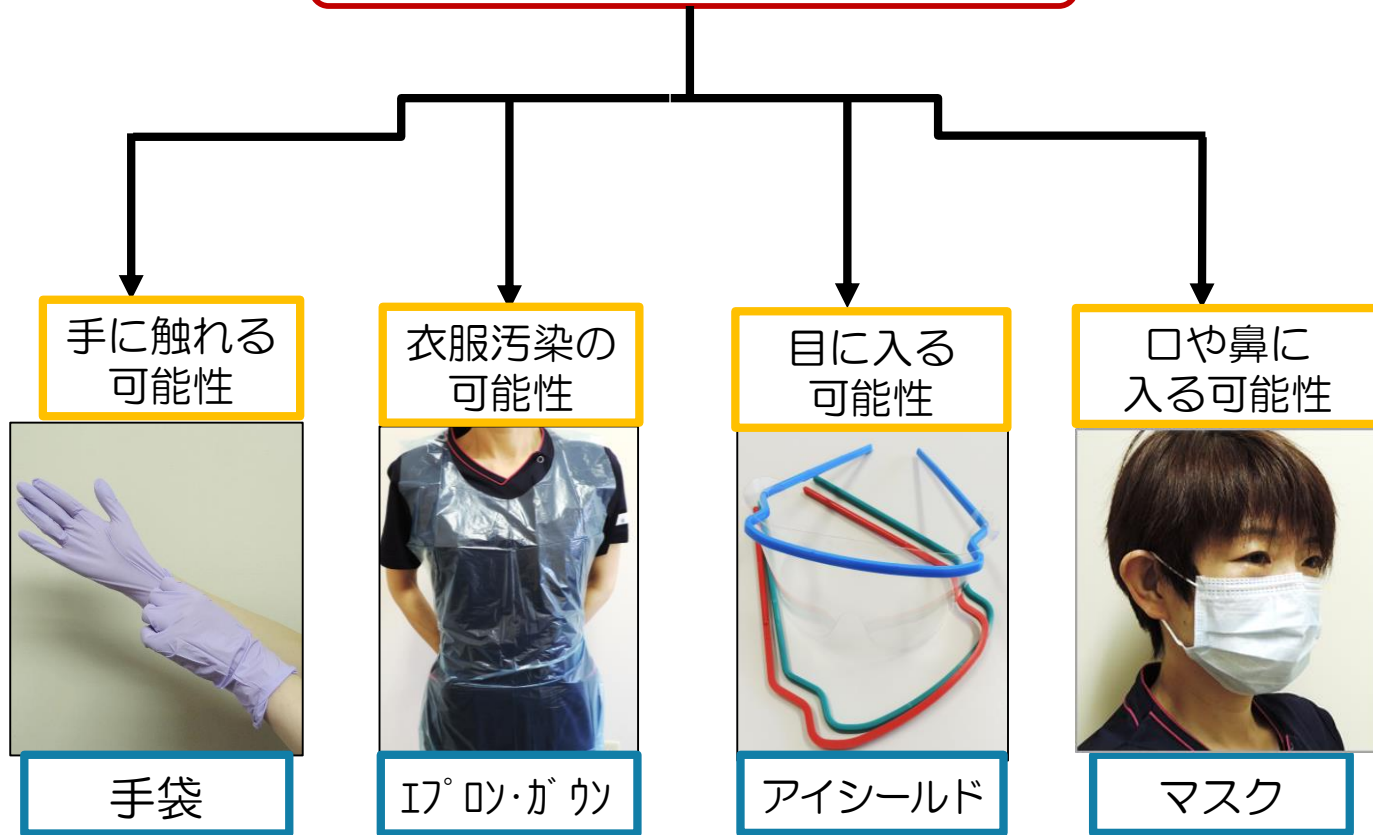
すべての人の、

- ①血液
- ②目に見える血液の有無にかかわらず、すべての体液、分泌物、排泄物（汗を除く）
- ③粘膜
- ④創傷皮膚

を感染性として取り扱うこと

# 個人防護具の選択

感染性物質に対する対応



視力矯正用メガネはアイシールドの代わりにはなりません！

**接触・曝露する可能性を考えて防護具を選択する**

今、みなさまが就業中実践しているのは、  
**ユニバーサルマスクिंग**






『無症状の人も含めてマスクを着用する』という考え方

- コロナは無症状であっても(発症の2日前から)ヒトにうつすため。
- 自分が感染者であった場合、周囲にウイルスがつかないように。



# コロナ対応 の場合



|  |   |
|--|---|
|  <p>手袋</p>              | <ul style="list-style-type: none"><li>•自分の手を守る。</li><li>•1重、2重の使い方がある。</li><li>•外したら必ず手指消毒する。</li><li>•陽性者ごとに必ず交換する。</li></ul>          |
|  <p>長袖がウ</p>            | <ul style="list-style-type: none"><li>•自分のユニフォーム・皮膚を守る。</li><li>•原則陽性者ごと交換する。ガウン+エプロンをつけ、陽性者ごとにエプロン交換することもある。</li></ul>                 |
|  <p>不織布マスク<br/>あるいは</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>•自分の鼻・口を飛沫から守る。</li><li>•陽性者対応後にグリーンゾーンに戻る場合は交換を勧める（マスクの表面を触るから）。</li></ul>                       |
|  <p>N95マスク</p>         | <ul style="list-style-type: none"><li>•自分の鼻・口をエアロゾルから守る。</li><li>•防水機能はないため、マスクまで覆えるフェイスシールドの使用を勧める。</li><li>•汚染・変形がなければ再使用可能</li></ul> |
|  <p>フェイスシールド</p>      | <ul style="list-style-type: none"><li>•自分の目を守る。</li><li>•再使用可能、グリーンゾーンに入る前に外すのが原則、いったん外したら表面(外側)を消毒する。</li></ul>                        |

# 他の個人防護具



キャップ

- 必須ではない。  
(手袋やガウンのように病原体をブロックすることはできない)
- 髪の毛を触らないため。



- 脱ぐ際に手指が汚染される危険が高いため推奨されていない。
  - 靴の裏にコロナウイルスが付着していても問題ない。
- シューズカバー（在宅で靴を脱ぐ必要がある場合は検討可）



# 防護用具着用から脱ぐまでのPoint

## □着用時のPoint

- まずは、**手指衛生**を実施
- 利用者に接触する**直前に着用**する

## □着用中のPoint

- **汚染を拡散しない**ようにする
- **周囲の環境、物品に触れない**ようにする
- 防護具を**着用したまま移動しない**  
(マスク、フェイスシールドを除く)

## □脱ぐ時のPoint

- **一番汚染している可能性のあるものから脱ぐ**
- 周囲環境、自分を**汚染しないように脱ぎ、廃棄**する
- **手指衛生をすぐに実施**する

なぜ防護具を脱いだあとに手指衛生が必要？



使用中に破損している可能性あり！

また、脱ぐ時に自分を汚染している可能性がある！

# 環境整備

## □ 環境整備の目的

- 身の回りのモノや設備についての病原体が
  - ✓ 自分の目・鼻・口につけないように(もらわない)
  - ✓ ヒトの目・鼻・口につけないように(うつさない)



環境を清掃・消毒し、病原体を減らす。  
換気し、空間の病原体を減らす。

# 清掃・消毒

□清掃・消毒を行う時のPoint

ここに病原体がついているかも!?!と想像力を駆使して実施する

- 目に見える汚れがある場合は汚れを落としてから消毒する
- 共有スペースや頻回に触るところ（高頻度接触表面）を消毒する
- 噴霧は禁忌！点ではなく面の消毒をする

環境を消毒することよりも、手をきれいにするのが効果的・効率的



# 高頻度接触表面以外の環境



## ➤床

- 床から直接病原体が職員や利用者につり感染症を引き起こすことはまれだと考えられる。
- 消毒剤による床清掃は不要、実施してもすぐ元に戻るだけ
- 床に落ちたコードを素手で持つ、ストレッチャーに乗せるなど手指が床に存在する病原体で汚染されれば感染のリスクはある。

床にモノを置いて  
はいけない理由

## ➤カーテン

- 汚染時はその都度交換する

コロナ  
対応の  
場合

- 陽性者⇒陽性者使用のときは見た目に汚染がなければ交換不要
- 陽性者⇒濃厚接触者（疑い者）の時は交換

# 換気



## □換気を行う時のPoint

- 距離がとれない空間であるなら、いかに換気するかどうかのポイント  
(距離がとれていても、いつも気かけられるとよい)

## □換気の方法

- 時間ごとの換気をする場合の目安は30分に1回以上5分程度窓を全開にする
- 暖房や冷房効率が低下する場合は細く窓を開けて換気する
- 2か所の窓を開けられるとよい

# コロナ対応の場合

## □換気の方法

- 病室の**入口は閉める**
- 陽性者の病室は、発熱者が寒がるのに無理に開放しなくてもよい（職員が感染しない目的で全くしないのは避ける）
- むしろ**感染していない病室や共有空間、グリーンゾーン**を強化

# 職員健康管理

応援施設or所属施設で実施している健康管理を  
続けましょう。

- 出勤前の健康チェック

実施タイミング、頻度、内容、記録

- 体調不良時の対応

発熱、咳、咽頭痛、鼻水、倦怠感などが出現したら  
報告先に連絡

出勤前であれば、出勤せずに！  
勤務中であれば、勤務中断！

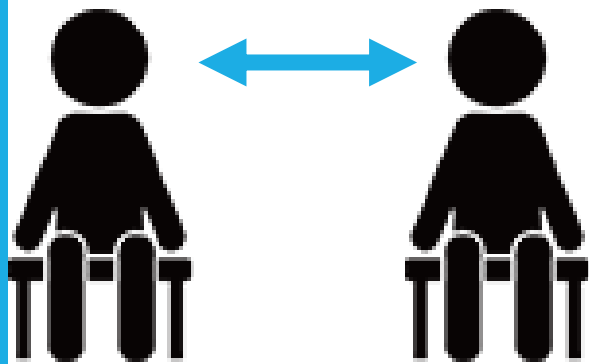
\* 抵抗力の向上に努めましょう

(睡眠時間の確保、バランスのとれた食生活、ストレスをためない)

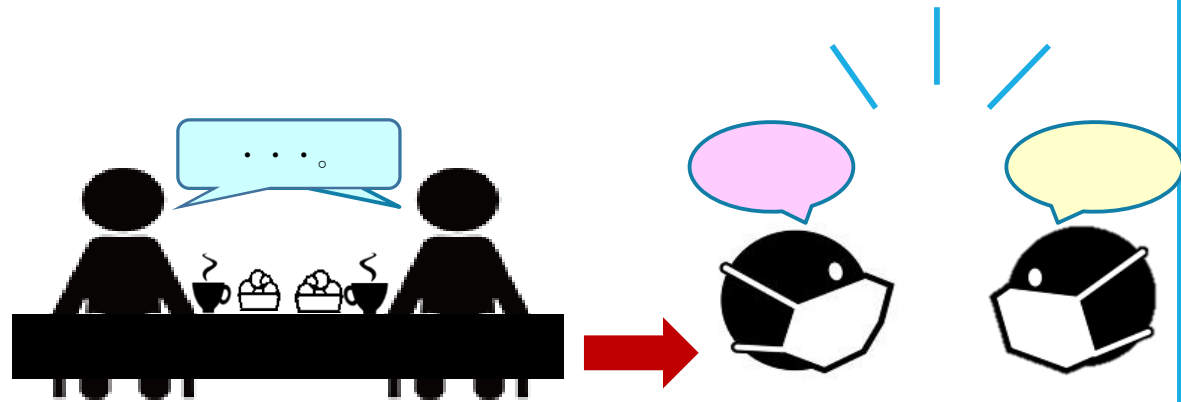
# マスクを外す場面での感染対策

## □職員間での感染対策

- 食事や更衣室などでの  
マスクを外すタイミングでの会話は避ける
- 食事は距離を保ち、黙食で・・・  
食後の会話はマスクをしてから



距離を保ちましょう。



モクモク（黙々）ごっくん  
マスクdeおしゃべり。



# ゾーニング


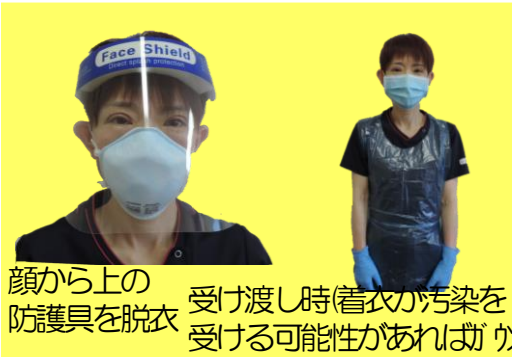

## □ ゾーニングの目的

新型コロナウイルスで汚染されている区域と汚染されていない区域を区分けし、感染拡大を防止する

## □ ゾーニングの考え方

- 汚染区域(レッドゾーン)と非汚染区域(グリーンゾーン)を明確に区別する
- レッドゾーンは可能な範囲で狭く設定する
- スタッフステーションはグリーンゾーンに設定する
- レッドゾーンに入るときは必要な个人防护具を着用し、出る際には脱ぐ
- 个人防护具の着用場所、脱衣場所の明確化(イエローゾーン)
- 手指消毒できる環境調整をし、手についたかもしれない汚染をすぐに除去する
- 非汚染区域の高頻度接触表面の消毒を頻繁に行い、汚染していない状態を保つ
- 全ての区域において十分な換気を行う

# ゾーンの場所・状況

|         |  |    |  |
|---------|--|----|--|
| レッドゾーン  |   | 場所 | 感染者の居室や退出直後の居室   |
|         |  | 状況 | 居室環境に新型コロナウイルスが付着している<br>感染者のくしゃみや咳により新型コロナウイルスが居室内に飛散する |
| イエローゾーン |  <p>顔から上の防護具を脱衣<br/>受け渡し時(着衣が汚染を受ける可能性がある)</p> | 場所 | 顔から上の個人防護具を脱衣する場所<br>受け渡し場所として活用することもある<br>* 設定しない施設もある  |
|         |  | 状況 | 環境に新型コロナウイルスが付着している可能性がある                                |
| グリーンゾーン |   | 場所 | 感染者や濃厚接触者でない利用者の居室<br>スタッフステーションなどの通常業務を実施する場所           |
|         |  | 状況 | 新型コロナウイルスが存在しない  |

# レッドゾーン

## □ 隔離対象者の居室選択

感染者 : 新型コロナウイルス感染症に罹患した者

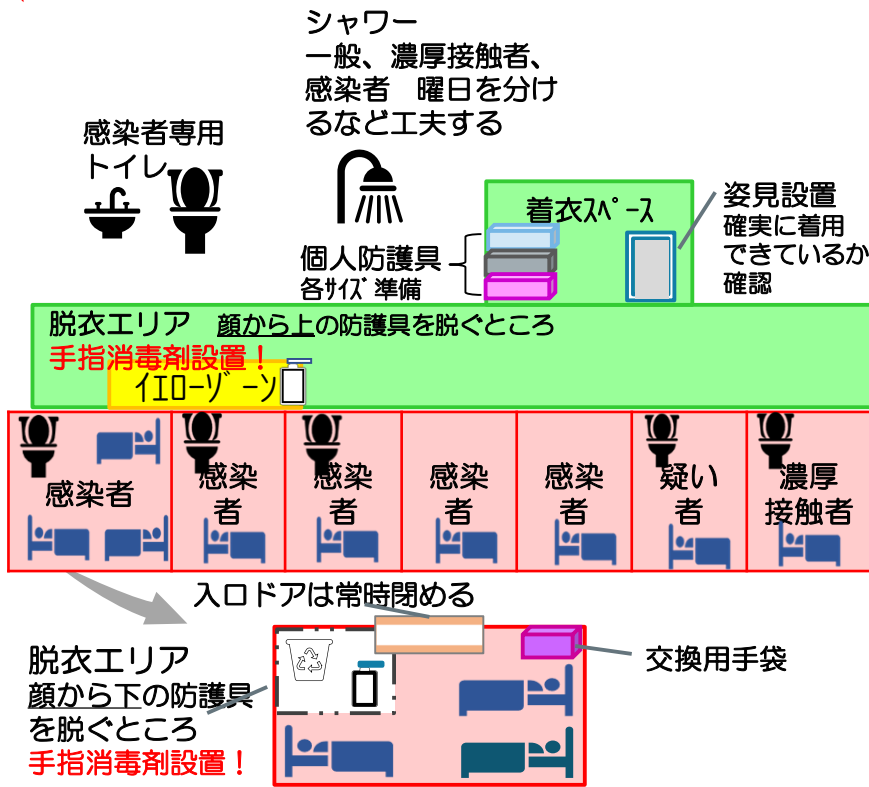
濃厚接触者 : 陽性者と同室者、隣席で感染予防策なしで過ごした者など

疑い者 : 新型コロナウイルス感染症に罹患した疑いがある者

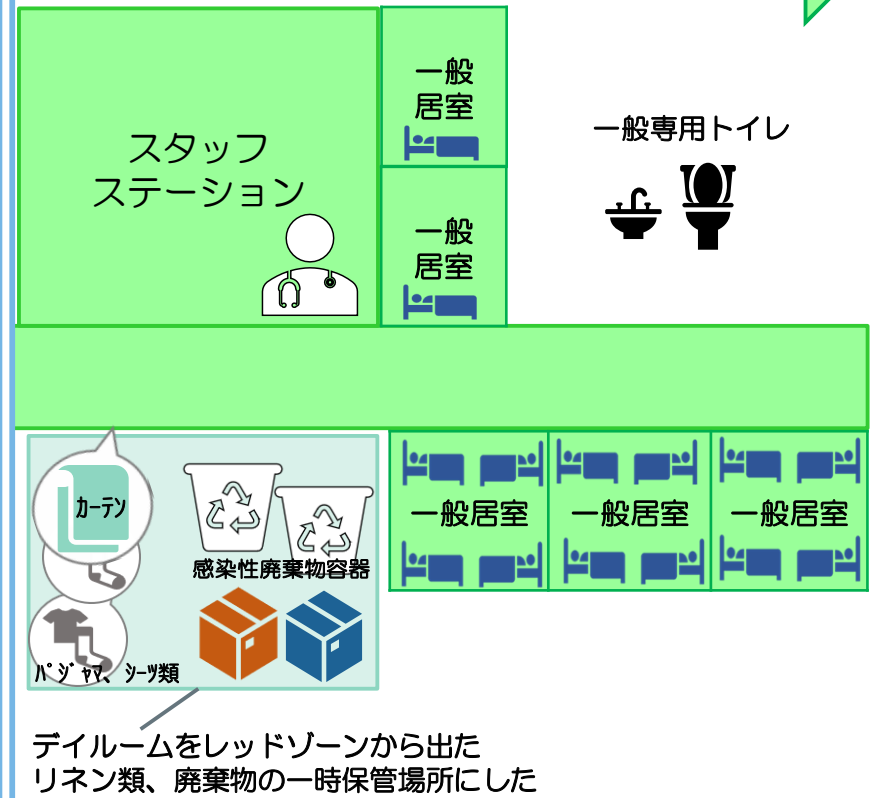
|                    | 感染者                       | 濃厚接触者   | 疑い者  |
|--------------------|---------------------------|---|--|
| 個室隔離可能<br>(対象者少人数) | 個室                        |   |  |
| 個室隔離困難<br>(対象者多数)  | 多床室<br><br>* 感染者のみ同室対応できる | 可能な限り個室<br><br>* 多床室管理だと新たに感染者が出た場合、濃厚接触者観察期間がさらに延長するため | 個室<br><br>* 感染者同様の対応をとるが、発熱などの症状が他に原因がある場合、曝露させてしまうことになるため |

# ゾーニングの一例

## 感染者・濃厚接触者(疑い者)ゾーン



## 一般ゾーン



# ゾーニング： 応援派遣職員として把握しておきたいこと

- レッド、イエロー、グリーンゾーンの把握
- 各ゾーンへの動線
- 手指衛生が実施できる場所
- 環境消毒用品保管場所
- ゾーン別着用個人防護具
- 個人防護具保管場所
- 個人防護具着脱手順
- 個人防護具着用確認ができる鏡の場所
- 廃棄物廃棄場所
- ゴミ・リネンの処理方法
- ゴミ・リネンの保管場所
- 気をつけていても汚染したかな？というときの対応方法の確認（職員用シャワールームがあるか）

休憩場所、更衣室  
なども

職員のユニフォーム  
の管理も

報告・相談先  
誰に聞けばいい？

# 感染者の対応 体調管理

平時の状態を知らないため、“いつもと違う”がわからない。  
“なにかおかしい”に気づくことができるといいですね。

## 緊急性の高い症状

|       |   |
|-------|---|
| 表情・外見 | <ul style="list-style-type: none"><li>★唇が紫色になっている</li><li>★顔色が明らかに悪い</li><li>★いつもと違う。様子がおかしい。</li></ul>   |
| 息苦しさ等 | <ul style="list-style-type: none"><li>●息が荒くなった（呼吸数が多くなった）</li><li>●急に息苦しくなった</li><li>●日常生活の中で少し動くと息苦しい</li><li>●胸の痛みがある</li><li>●横になれない。座らないと息ができない。</li><li>●肩で息をしている</li><li>●突然ゼーゼーしはじめた</li></ul> |
| 意識障害等 | <ul style="list-style-type: none"><li>★ぼんやりしている（反応が弱い）</li><li>★もうろうとしている（返事がない）</li><li>●脈がとぶ、脈のリズムが乱れる感じがする</li></ul>   |

# まとめ 支援活動(有事の感染対策)といえどもやはり 大事ななのは平時の感染対策の確実な実施

- 感染対策の基本のきである標準予防策の理解と徹底  
(支援時は徹底する水準をさらに上げる)

## • かもしれない対応

ここにウイルスがついているかもしれない

この利用者も感染しているかもしれない

この職員も感染しているかもしれない

自分も・・・

と想像力を働かせ、目・鼻・口、環境を守っていきましょう。

## • 「やってるつもり」⇒ 「確実にできている」

もらわないため、うつさないためには「つもり」では不十分

感染は、ほんの一瞬の感染対策の省略で感染してしまう。1つ1つ行為衣を丁寧に実践しましょう。